

新教皇はイエスが先に決めていた

先週、教皇選挙が開かれ、新しい教皇が選ばれました。具体的な内容は守秘義務があり当事者しか知りませんが、選挙人は「投票は聖霊に導かれていた」と口を揃えます。マスコミが報道するような権力やお金が支配しているのではなく、神に導かれているのです。枢機卿たちは「自分たちが教皇を選んだのではなく、イエス自身が決めている正解を探して投票を繰り返し、三分の二以上の票で正解に辿り着いた」と考えています。選ばれた本人も「自分は神に選ばれた」と自覚しています。世界中のキリスト信者も、神によって新しいパパ様が与えられたと感じています。だから、世界中が歓びに溢れます。

投票という人間的な行動を通して聖霊が働き、神の計画が実現するのです。これはコンクラーベだけではなく、私たちの人生でも同じことが繰り返されています。日常生活や仕事という当たり前の人間の活動を通して聖霊が働き、神の計画が実現していくのです。正解に辿り着くまで何回も投票するように、神の望みを見つけるまで何回もやり直します。神の働きは、奇跡や超常現象を言うものではありません。聖霊は私たちの知性を照らし、神の望みを明らかにします。また意志を強め、神の望みを勇敢に実行する力を与えてくれます。

私たちの人生は神が決めています、運命ではありません。神に導かれて自由に応えるのが人生です。時代も国を親も、自分で選ぶことはできません。そもそも命は神からのギフト、頂きものです。それに対して、どう応えるかを神に問われています。人生は神と私の共同作品なのです。神を信じない現代社会では、神の視点が抜けて自分だけの人生、「今だけ、金だけ、自分だけ」の生き方になります。その結果が現代社会です。戦争、格差、貧しい人が虐げられる社会になりました。神の正解に辿り着いていません。真逆の社会です。一人一人が神に従うという自覚が足りなかったからです。

新しい教皇様レオ 14 世と一緒に、新しい世界を創りましょう。必要な才能はみんな持っています。足りないもの、持たないもの、いっぱいありますが、問題ありません。各自が持つ賜物を持ち寄って助け合えばいいのです。愛するために自由を与えられました。自由を自分のために使うと、お金や権力の奴隷になり不幸になります。正しい自由の使い方は目の前の人を助け、喜ばせ、幸せにするためです。そしてみんなが幸せになります。神が望む丸い社会になります。不平や不満は自己愛から生まれます。仕える思いがあれば自由と才能を活用して、社会を人を明るくできます。■2025/05/16 説教（文責：小寺神父）